出題意図　倫理学専攻分野　専門科目
博士課程前期２年の課程　一般選抜　冬期

１
　専門用語を説明してもらうことで、倫理学を研究する上で必要な基礎知識を身につけているかを見る問題である。受験者の希望する研究範囲は西洋倫理学史から現代倫理学、実践倫理学まで幅広いため、八個の語句を用意し、そこから四個を選べばよいようにしてある。なお、どの語句も長い歴史と解釈史、論争を背負っている語句であり、一義的な正解というものはない。大問２への答えから見て取れる、受験者の専門や研究計画に応じて、その研究を行なうに必要と判断されるだけの内容が書いてあれば十分である。

２
　進学後の研究計画について、先行研究をどのていど押さえているか、また、その中に自分の主張や問題設定をどれだけ適切に位置づけられるかを問う問題である。卒業論文や小論文でそれなりの紙幅を使って論じているであろう内容を、あらためて解答用紙一枚にまとめることを求めるこの設問によって、自身の問題の適切な把握だけでなく、それを分かりやすくまとめる能力を見ている。